

学校評価書（令和3年度 幼稚園部）

令和4年3月3日

学校法人 浜松平和学園 平和こども園長 鈴木秀志
 学校法人 浜松平和学園 平和こども園 学校関係者評価委員長 原田 富子

1 こども園教育目標 「明るく たくましく やる気のある子」					
2 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)					
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活に必要な、健康・安全の習慣を身につける ○ 諸活動を通して人間関係を深め社会性を養う 					
3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果					
※評価点は、4(十分に成果があった)3(成果があった)、2(少しの成果があった)、1(成果がなかった)の数値を表す。					
評価項目	園としての取り組み(観点)	自己評価点	こども園としての反省と改善策	学校関係者評価委員会評価点	学校関係者評価委員会の意見
① 保育の計画性	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の実態に合った教育課程や行事が組まれているか ・指導計画の評価を定期的に行い指導に生かされたか 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様コロナ禍での行事運営となったが、安心・安全を重視し、昨年の反省を踏まえ、改善するところは改善し、実施することができたと思う。 ・5領域のバランスを考えて保育を進めることを心掛けているが、クラス差があるように思う。 ・保育の振り返りや行事の反省を次に生かすということができつつあるので続けていきたい。 ・保育後の雑談で子どもの様子(感動したこと・おもしろエピソード・困ったこと等)を分かち合うことも大切だと思う。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が子どもたち一人一人を把握していると思う。保護者の方も、子どもたちの様子を見ていて、そのことがわかるからこそ、このようなアンケート結果になっていると思う。 ・外部の目から見ても、パーフェクトではないか。教育方針に沿って保育をしていると思う。 ・アンケートの意見なども次年度に生かしてくれているのはうれしい。
② 保育のあり方、幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・個の発達にあわせた保育に心掛けたか ・基本的な生活習慣をおろそかにしない保育であったか ・子供同士の心の通い合いを大切にできたか 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任以外の職員も援助に入ることで複数の手や目で支援でき、身につけてほしい生活習慣の獲得を促すことができた。 ・個別の対応が必要な子供に対してどのように対応していくべきなのかを職員間で相談し合うことができた。一人で抱え込むのではなく、園全体で話し合い、決めていくことが大切だと感じた。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは、紙の方が見やすかった。携帯だとアンケートすべてを見るできない。紙媒体でも質問はわけてほしい。 ・連絡帳を書いてくれる回数が増えたのはよかった。短い文でもパス登園で先生とあまり接触のない保護者は様子を知ることができるのでうれしい。
③ 教師としての資質、能力、適正について	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容の事前準備や事後処理が適切であったか ・環境整備に気を配り適切に対処できたか ・係の一員として自分の力を発揮したか 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・分掌や行事担当などチームで動いているが、負担が集中している時や責任体制が明確でない場合が見られた。今後、改善を図っていきたい。 ・環境構成(整備)に対する意識が低いように感じた。もっと子どもが興味をもち、自分からかかわれるような環境にできるといい。 ・けがが多かったように思う。定期的に環境整備を行い、遊び方の指導を年間通して行っていきたい。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・先生たちが他の子とのやり取りとか、細かいことまで伝えてくれている。ブログやYouTubeで様子が見れるのはうれしい。 ・毎日の送迎時に、担任ではない先生も声をかけてくれる。毎日安心して送り出せる。 ・園行事は、他園より充実していると感じる。ポニー乗馬体験など、行事をやめた方が安全なのかも、楽なのかも思うことも子どものためにやってくれていると感じている。いろいろな工夫をしてくれていることに感謝している。
④ 保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・園と家庭間の連絡に滞りがなかったか ・子供の社会性や成長を保護者と共有しながら保育できたか 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・参観会が保育室で行えなかったため、カリキュラムや各クラスでの様子などもYouTubeで見ってもらうようにした。 ・連絡帳の書き方を昨年までの保護者からの意見を参考にし、その日の出来事を書くようにし、回数も増やした。来園時などには、直接子どもの様子を伝えたり、家庭での様子を聞いたり、コミュニケーションを心掛けた。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・先生たちが他の子とのやり取りとか、細かいことまで伝えてくれている。ブログやYouTubeで様子が見れるのはうれしい。 ・毎日の送迎時に、担任ではない先生も声をかけてくれる。毎日安心して送り出せる。 ・園行事は、他園より充実していると感じる。ポニー乗馬体験など、行事をやめた方が安全なのかも、楽なのかも思うことも子どものためにやってくれていると感じている。いろいろな工夫をしてくれていることに感謝している。 ・アンケートの結果や保護者の皆さんの意見を聞いて、先生方と保護者の関係がいいことがわかる。その割に、先生たちの自己評価が低いのが気になる。先生たちが自信をもって保育を行えるといい。
⑤ 地域の自然や社会との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然や施設を活用できたか ・地域への開放や子育てへの支援ができたか 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・園外保育はコロナで制限されることもあったが、対策をして行うことができ、よかった。 ・散歩は自然とのふれあい、四季の移り変わりなどを感じるだけでなく、交通ルールを知るいい機会になっている。安全面を考慮すると担任だけで行くのが難しいので、全職員で協力しながら年間通して継続して行えるようにしたい。 ・ひな組はコロナ禍でも工夫して行い、親子のふれあいや友だちづくりなどを提供する場となったと思う。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは先生に褒められると自信をもてる。ちょっとしたことでいいので、子どもたちを褒めることをしていってもらいたい。 ・先生たちの自己評価が低いのは、もっともっとよくしたいという向上心からきているのかなと思う。 ・以前より、保護者でこの会に来られている保護者の方はいつも感謝をされている。先生たちは自信をもってほしい。 ・コロナにかかった人を責める風潮にある。でも今は十分注意していても、どこにいてもかかってしまう危険性がある。もし、家族・近所・身の回りの人がかかったとしても、その人を思いやれる、優しい気持ちを育ててほしい。
⑥ 研究と修養	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを忘れず、保育力の向上に努めていたか ・各種研修会に参加し研修で得たものを園の保育等の実践に生かすことができたか 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で実際に向向研修は少なく参加できなかったが、eラーニング型やZOOMなどのリモート型研修には参加できよかった。研修を受けるだけでなく、今後を生かせるよう全体への発信の場を設けたり、閲覧方法を整えたりしていきたい。 ・園内研修への取り組みに個人差がある。また、周知も曖昧なので進め方を検討していきたい。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・先生たちが他の子とのやり取りとか、細かいことまで伝えてくれている。ブログやYouTubeで様子が見れるのはうれしい。 ・毎日の送迎時に、担任ではない先生も声をかけてくれる。毎日安心して送り出せる。 ・園行事は、他園より充実していると感じる。ポニー乗馬体験など、行事をやめた方が安全なのかも、楽なのかも思うことも子どものためにやってくれていると感じている。いろいろな工夫をしてくれていることに感謝している。 ・アンケートの結果や保護者の皆さんの意見を聞いて、先生方と保護者の関係がいいことがわかる。その割に、先生たちの自己評価が低いのが気になる。先生たちが自信をもって保育を行えるといい。
⑦ 外部アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のアンケート結果を把握し日常の活動に生かされたか 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意見や気持ちを知り、保育を振り返るよい機会となっている。子どもたちにとって何がよいのかを考え、今後の保育に生かすとともに、職員の資質が向上できるよう、努めたい。 ・今年度は初めて行事についての意見も聞いた。様々な意見があるが、園としての考えを伝えようとして、改善できることは改善していきたい。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・親の仕事の関係もあり、コロナ予防で子どもたちにも学校、こども園と家のおみの行き来のおみの生活だったので、まん延防止措置が出ている中で、対策をして大変だったと思うが、お別れ遠足に行ってくれて本当によかった。